

第38回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成30年10月30日（火）、ゆうちょ財団主催の「第38回 知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が、東京・豊島区の「福祉財団ビル」を会場に開催されました。今回は、東京都自閉症協会様とNPO法人むさしの発達障がい支援サークルしょーとてんぱー様に共催団体として、ご協力をいただきました。

本日のテーマは、「暮らす力を育む！お金で学ぶさんすう」で、講師は住山志津枝氏（FP／お金で学ぶさんすう®理事長）が務めました。

主な内容は、学校算数と生活算数の違いとは？ お金の計算とお金のやりくりの違いとは？ 収入と幸せが比例しない理由とは？ です。

数が数えられない未就学児がどうしてお金を理解できるのか、買い物ができる力はどのようにして育てるのか、などを自らの指導経験を交えながら話していただきました。

買い物をこわがらない工夫として、まず自動販売機で買い物をし、次にファストフードを利用する（スタッフがマニュアルどおりに接客するので、予習をしやすい）、それに慣れたらセルフレジ、というように、最初に買い物でつまづかない成功体験を積むことが大切です。

また、金銭感覚を育てる方法として、自転車の運転を例に挙げて説明しました。自転車の運転は、知らないからできない→知っていてもできない→意識すればできる→無意識にできる、という失敗を重ねながらステップを踏んでできるようになります。最初のうちは転んでも、いずれ運転できることがわかっているので、親も黙って見守っていることが多いですが、これをお金の使い方に代えると、「無駄遣いをして・・・」「そんなものばかり買って・・・」と親が注意をしがちです。そもそも無駄遣いとは、誰にとっても無駄遣いなのかということ、親の金銭感覚で注意をしていることに他なりません。

本日は、多くの事例を用いて分かりやすく、説得力のあるお話を聴くことができました。



次回は平成30年11月17日（土）、呉市で開催します。